

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国 語】

- 話し言葉と書き言葉との違いに気付き、言葉の特徴や使い方を理解している。
- 人物像を具体的に想像することができ、読み取ることができている。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし  
ながら書くことに課題がある。
- 資料を活用するなどして、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるよ  
うに表現を工夫することに課題がある。

#### 【算 数（数学）】

- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表す数と計算の領域の理解ができている。
- 円周の長さや円周率の関係など図形の領域の理解ができている。
- 速さと道のりと時間の関係について考察するなど変化と関係の領域の問題に課題がある。
- 表から必要な情報を取り出し、分類整理する問題に課題が見られる。

### 2 児童質問紙に関する結果の概要

- わけや求め方などを書く問題に対して、最後まで書こうとする力が身に付いている。
- 学習の中でタブレットを活用して友達と協力しながら学習を進める力が身に付いている。
- 考えを伝えるために資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しようとする意識に課題  
がある。
- スマホなどの使い方について家の人との約束を守って活用しようとする意識に課題がある。

### 3 取組についての評価

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があつた取組

- ・算数科の少人数指導や分割授業の実施
- ・全校での授業改善の推進（表現・交流活動を取り入れた授業）
- ・国語、算数の基礎基本の指導（単元に必要な下学年の内容を復習する時間の設定）

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・話す、聞く、書く活動の3つの視点を大切にした授業づくり
- ・読解力向上に向けた授業改善や家庭学習の取組

#### (2) 児童質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があつた取組

- ・ICTタイムの設定や日常の授業での活用
- ・「みんなでチャレンジ」の合言葉をモットーにしたさまざまな取組
- ・自己有用感や最後までやり抜く力など非認知的な能力を育成する縦割り活動などの取組

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・異学年、保護者、地域の方への発表など、相手意識を高める学習の場の設定
- ・SNSに関するマナーなどの規範意識教室の実施や保護者への啓発の場の設定